

けいじばん
3月の掲示板より

なが ひな み つち で
「流し雛を見る土から出てきたばかりのカエルくん」



3日の雛祭りひなまつりと5日の啓蟄けいちつから、「流し雛ながひなと土から出てきたばかりのカエルくん」
「啓蟄けいちつ」とは二十四節気にじゅうよんせつきの一つで、このころ冬ごもりふゆごもりをしていた虫が穴から出てくるとされています。

ひなまつり 雛祭り ひなひなとは、小さいことちいを表わしています。雛人形ひなにんぎょうは、神の依り代かみよしろとなる形代かたしろと呼ばれる人形よ（ひとがた・にんぎょう）の一種です。3月の上巳じょうし（三月の初めの巳の日さんがつ はじ）の節句せっきうに、身をこの形代かたしろで撫なでて、穢れけがを遷うつした後に、川や海のちに流かわし、子供なごの健やかな成長こどもすこを祈せいちょうることが、雛祭りひなまつりの元もとになったと言いわれています。もともとは紙かみや土つちなどで作られた簡単かんたんな人形にんぎょうで、1年の災ねんわざいを受け止めた後うとに川や海のちに流かわされました。これを「流し雛ながひな」、人形にんぎょうを「流し雛ながひな」といい、その風習ふうしゅうは現在げんざいも残のこっています。この風習ふうしゅうと、平安時代へいあんじだいから続く宮廷貴族きゆうていきそくの子女しじょの雛遊ひなあそびとが結びつき、江戸時代えどじだいに入はいって武士階級ぶしがいきゅうから町人ちやうにんへと広まり、雛人形ひなにんぎょうを飾かざるようになったと言いわれています。

フラワーアレンジメント

いつも、柏木小学校むかのみなさんを迎むかえてくれる玄関げんかんのフラワーアレンジメントは、主事しゅじの関根せきねさんの作品さくひんです。お花はながあると周りの空気まわりのくわいまで華はなやかで、心こころが明るくなるあかきがします。これまでの作品さくひんの一部いちぶを紹介します。



左から、4月、10月、12月、2月、3月の作品です。お花の種類しゅるいだけでなく、色合いいろあや生け方きせつで季節きせつを感じます。みなさんなら、それぞれにどんな題名だいめいを付けますか？



新宿門横しんじゆくもんよこの掲示板けいじばんにあります。

令和4年3月
新宿区立柏木小学校 竹内